

や、ひこ 散歩ノート

あたらしいガラスに出会えるお店 TAKU GLASS



▲おもてなし広場でも、タクグラスさんの風鈴が数多く飾られ、涼しい音色を響かせています♪

や ひこ散歩ノート第4弾は、**弥彦クラフトタクグラス**（弥彦）。タクグラスに置いてあるガラス製品は、すべて野澤拓自さんをはじめとする職人たちによる手作りです。手作りのグラスは、飲み口が丸みを帯び、口あたりが良くなります。風鈴は、ひとつひとつ重さが異なり、音色も変わってきます。新潟市秋葉区出身の野澤さんは、各地で修業を積まれた後、弥彦に念願

オープン：2013年
本社所在地：弥彦村大字弥彦 3022-4
業務内容：ガラス製品の製作と販売
営業時間：午前9時～午後5時
水曜定休



女性に人気の
ガラスの**アクセサリー**も
よりどりみどり▼



のお店を構えました。「弥彦村は県内有数の観光地であるため、一見さんが多く、新潟市とは異なる客層があり、魅力的です」と語る野澤さん。また、村民の方々は、郷土愛がとても大きく、みんなが弥彦村を良くしていこうと思っっていることが伝わってきます。何か起業を考えている人がいたら、ぜひ弥彦村も候補地に考えてみてはいかがでしょうか。

◀ガラスの**花瓶**を製作中の野澤さん
熱して柔らかい時間は、ほんのわずか！
時間と技術の勝負です！

クラゲを模した風鈴「**クラゲ風鈴**」▶
当たる場所で音色が変わり、
味わい深いです♪

村長席から



最近三回読み直した本があります。だいわ文庫から出版された「50歳からは炭水化物をやめなさい」という文庫本です。筆者は藤田絏一郎医学博士。東京医科歯科大卒とあります。

筆者の説は簡単に言うとな次のようになります。人間が生きてゆくために必要なエネルギー源と生きてゆくためのエンジンは、五十歳代を境に大きく変わります。若いときは炭水化物（米や白いパンなど）を原料とする解糖エンジン、年を取ると酸素が原料のミトコンドリアエンジンの二つ。

若い時は、ご飯をモリモリ食べないと元気が出ませんが、五十歳を過ぎて炭水化物を食べ過ぎると健康長寿に著しく悪影響を与えると指摘しています。さらに、エンジンの切り替えがうまくいかないと、せっかく元々百歳の寿命を持つ人間の細胞の命を短くすることに繋がります、と警告しています。村民の皆さんの健康で長寿が村政の大きな課題ですので、大変参考になりました。

話は変わりますが、八月三十一日（土）午後四時半から「花角英世知事と新潟県の発展と弥彦の未来を考える集い」を開催します。会場は役場隣の弥彦村農村民環境改善センターです。村の維持発展には県の協力なくしては出来ません。知事に弥彦村を理解していただくには絶好の機会です。出来るだけ沢山の村民の皆さんのご参加をお願いします。当日は知事夫人も来ていただけます。

弥彦村長 小林豊彦